

2024年9月9日

各位

会社名 株式会社日水コン
代表者名 代表取締役社長 間山 一典
(コード番号：261A 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 コーポレート本部
副本部長 (兼) 経営企画部長 梶 道夫
(TEL. 03-5323-6200)

2024年12月期の業績予想について

2024年12月期(2024年1月1日~2024年12月31日)における当社グループの業績予想は、下記のとおりであります。

記

【連結】

(単位：百万円・%)

項目	決算期	2024年12月期 (予想)			2024年12月期 中間会計期間 (実績)		2023年12月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高		23,151	100.0	5.8	12,855	100.0	21,884	100.0
営業利益		1,985	8.6	6.3	1,711	13.3	1,867	8.5
経常利益		2,036	8.8	24.2	1,724	13.4	1,639	7.5
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益		1,372	5.9	24.4	1,110	8.6	1,103	5.0
1株当たり当期(中間)純利益		115円63銭			93円59銭		92円98銭	
1株当たり配当金		58円00銭			—		100,000円00銭 (50円00銭)	

(注) 1. 2023年12月期(実績)及び2024年12月期中間会計期間(実績)の1株当たり当期(中間)純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。2024年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は予定期中間平均発行済株式総数により算出しております。

2. 2024年4月1日付で、株式1株につき2,000株の株式分割を行っております。上記では、2023年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(中間)純利益を算出しております。また、2023年12月期(実績)の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した数値を()内に記載しております。

ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2024年9月9日の当社取締役会において決議された当社普通株式の売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

【業績見通しの策定根拠】

(当社グループ全体の見通し)

当社グループは、上下水道を中心とした社会資本について、発注者の技術パートナーとして施設整備の計画・設計等のコンサルティングを核とした事業を営んでおります。水に関する社会問題を解決することで成長する「水のインパクトカンパニー」となることを目指し、給水人口の減少、巨額の維持更新投資、ノウハウを有する職員の退職による技術承継等複合的な課題に対して、「官」、「民」そして「地域」のそれぞれに対してソリューションを提供する事業を行っております。

2023年12月期におけるわが国経済は、地政学的なリスクの高まりに加え、資源価格の高騰やインフレの進展等により、景気の先行きは依然として不透明な状況にて推移いたしました。

このような経済状況の中、当社が属する建設コンサルティング事業は、国土強靱化の必要性から上下水道関係予算が対前年度比約1.2倍で計上される等公共事業関係費が安定的に推移しており、外部環境は堅調に推移しております。

かかる環境の中、2024年12月期の業績は、売上高23,151百万円(前期比5.8%増)、営業利益1,985百万円(前期比6.3%増)、経常利益2,036百万円(前期比24.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,372百万円(前期比24.4%増)を見込んでおります。

(1) 売上高

当社グループでは、主な受託業務が官発注であるため地方自治体の年度末である3月で多くの業務が終了することから、上水道、下水道及び河川その他の区分はすべて同様に当社の年度末である12月末段階の受注残を参考に翌期の売上高の見込みが立てやすいという特徴があります。

そのため予算策定においては、好調な市場環境を背景に2023年12月末の受注残が22,207百万円であったことから、2024年12月期の売上高は23,151百万円(前期比5.8%増)を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

当社グループの売上原価は、人件費、外注費及び経費に分類されます。2024年12月期の予算策定においては、人件費は現業部門における人員数を前提に標準人件費単価を乗ずることで算出し、外注費・経費については実績を勘案して算出しております。なお、下半期は売上が上がりにくいことに加え完成後のプロジェクトに対する手直し等の原価も発生すること等から上半期に比べて売上総利益が減少する傾向にあります。

外注費については、社内リソースの補充としてかつ業務実施時期及び量のバッファとして積極的に活用する方針としているところですが、急激な外注の増減は品質維持を念頭に置くことと望ましいことではないと考えており、人件費、外注費ともに売上高の伸長と概ね同様の動きとなることを想定しております。

以上を踏まえ、2024年12月期の売上総利益は6,529百万円(前期比6.7%増)を見込んでおります。

ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2024年9月9日の当社取締役会において決議された当社普通株式の売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」(及び訂正事項分)をご覧ください。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なることがあります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

当社グループの販売費及び一般管理費は、人件費及び経費で構成されています。2024年12月期の予算策定においては、人件費は営業部門及び管理部門における人員数を前提に標準人件費単価を乗ずることで算出し、経費については実績を参考にその発生可能性を考慮して算出しております。なお、売上の上がりにくい下半期は販管費等における固定費を賄いにくくなることから上半期に比べて営業利益が減少する傾向にあります。

2024年12月期については、人件費単価上昇や上場関連費用を織り込む一方で、過去に貸倒引当金を積んでいた海外案件において入金があったため取崩しを予定しております。

以上を踏まえ、2024年12月期の営業利益は1,985百万円（前期比6.3%増）を見込んでおります。

(4) 営業外損益、経常利益

営業外損益として、主には受取利益や為替差益等を営業外収益に、主に支払利息等を営業外費用に計上しております。2023年12月期に持分法適用会社の実質価額が低下していたことから投資損失258百万円を計上しましたが、2024年12月期にはその影響がなくなります。

以上を踏まえ、2024年12月期の経常利益は2,036百万円（前期比24.2%増）を見込んでおります。

(5) 特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益については、現時点で計上を見込んでおりません。

そのため法人税等を差し引いた結果、2024年12月期の親会社株主に帰属する当期純利益は1,372百万円（前期比24.4%増）となる見込みです。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績につきましては、様々な要因によって異なる場合があります。

以 上

ご注意：

この文章は一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。2024年9月9日の当社取締役会において決議された当社普通株式の売出しへの投資判断を行うに際しては、必ず当社が作成する「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。「株式売出届出目論見書」（及び訂正事項分）は引受証券会社より入手することができます。また、本記者発表文に記載されている当社の計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本記者発表文の作成時点における当社の判断又は考えに過ぎず、実際の当社の経営成績、財政状態その他の結果は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合、外国為替相場の変動等により、本記者発表文の内容又は本記者発表文から推測される内容と大きく異なる場合があります。